

庁 議 事 項

① 令和4年度予算編成方針について

【企画財政部】

② 県下一斉フードドライブキャンペーンについて

【環境部】

令和4年度予算編成方針について

1 誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現

- ・あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現のため、コロナ禍を乗り越え、2040年を見据えた施策や安心・安全を確保するための施策を推進

2 社会全体のDXに向けた取組の深化

- ・DX推進計画の着実な実行や新たな働き方・暮らし方の定着など社会変化に対応し牽引する取組を展開

3 持続可能な財政運営に向けた聖域なき改革

- ・EBPM(客観的なデータに基づく政策立案)の考え方に基づいた不断の事業の見直し
- ・行政のデジタル化やペーパーレス化による行政プロセスの見直し
- ・将来を見据えた基金残高の確保や県債残高の適正な管理

※現時点の収支見込み（一般財源ベース） 要調整額 $\Delta 1, 322$ 億円

歳出予算要求枠の考え方(一般財源ベース)

企画財政部

新規事業等への配分
(約35億円)

事業レビューによる見直し等
(約100億円)

新規重点政策枠

所要額×100%
(新規事業又は既存事業の再構築)

- 新規重点政策と認められた事業は、既存事業とは別枠で要求可能

その他新規事業

既存事業

見直し後の配分額の範囲内で事業構築

- スクラップ&ビルドによる新規事業の構築
- 事業レビューを踏まえた事業の再編

予算編成方式

- 対象:一般的な継続事業(約1,500事業・663億円)
- 各部長のマネジメントによる見直し(▲10%)
→各部長から見直し結果を知事へ報告(10月下旬)
- 削減見込み額:約66億円

集中方式

- 対象:財政課指定事業(65事業・642億円)
- 企財部から課題を提示し事業の見直しを指示
- 各部長の見直し結果を財政課から知事へ報告
(10月中旬)
→知事の方針を各部長へフィードバック
→予算審査で対応を決定
- 削減目標額:約34億円

県下一斉フードドライブキャンペーンについて

初！市町村や包括的連携協定企業等と連携し、オール埼玉で開催中

【期間:10月1日(金)~11月30日(火)】

参加団体
91

市町村 46、社会福祉協議会 33、清掃一部事務組合 8
株式会社イトーヨーカ堂 (14店舗)
生活協同組合コープみらい (21店舗等)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン (埼玉地区事務所)
株式会社ファミリーマート (28店舗)

集まった食品は、子ども食堂、フードバンク、自立相談支援窓口等を通じて、
地域の子も達や生活困窮者等の支援のため提供



※WEリーグ選手によるPR動画も
テレ玉で放映中！

県庁フードドライブ

持参場所 環境部 資源循環推進課 (第三庁舎2階)
福祉部 少子政策課 (本庁舎1階)
福祉部 社会福祉課 (本庁舎4階)

ご提供いただきたいもの

賞味期限が2月以上あり、常温で保存できる未開封の食品
(お米、レトルト食品等)

ファッションリユース &リサイクル@浦和PARCO

衣服回収キャンペーンも開催！
(10/22~26 11:00-17:00)

5着以上お持ちいただいた方に
500円分の食事券を
プレゼント



※フードドライブ=家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する活動(「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」より)